



日本JCシニア・クラブ

SENIOR CLUB



中津JC
シニアクラブ
(大分県)

毎月開催の楽しく飲み語り合う「愉行会」をはじめ 現役との合同例会や韓国との交流。活発な活動と 熱い現役支援を通して地域のために頑張る!



韓国・晋州市で晋州JCから中津市長新貝氏・名誉市民安藤氏(シニアメンバー)が歓迎を受ける。

中津JCは1953年の設立で、本年度57年目を迎えます。そして、卒業生でつくったシニアクラブは、前身を「愉行会(ゆこうかい)」といい、JC卒業生が月に一度愉快地集い飲む場所をつくってまいりました。「愉行会」は創立当初より、当時の卒業生によって開催されておりました。当時はそれ以外にもさまざまな名称で卒業生が集まり、飲み語り合う会が開かれていました。しかし、設立40周年を迎える1983年前後から卒業生が100名を超え、世代を超えて皆が集まることもなかなか難しくなり、中津JCシニアクラブとしての組織化を図るようになりました。そして40周年の年に、「中津JCシニアクラブ」として正式に、中津JCの卒業生150名超の集合体



本年新年会での「若い我ら」

として設立されました。主な目的は2つ、(1)会員の相互親睦を図る、(2)現役の支援。

シニアクラブ独自の事業として大きなものは、韓国晋州JCシニアクラブとの交流事業があります。これは中津JCが、設立20周年より韓国晋州JCとの姉妹交流を行なっており、両JCのシニアクラブにとつても交流の歴史と積み重ねがあり、今でもその交流は続いています。

現在は10代目の土岡俊介会長のもと、200名を超えるJCのOBが集い会員相互の親睦と中津JCが進めるまちづくりを支援しております。定例

的な事業でいくと、毎月「愉行会」と題した懇談会を行なっています。毎回会員40名前後の参加で、その年の新入会員がお世話係となります。今年も中津JCを8



本年新年会での新役員の挨拶。

名が卒業し、全員シニアクラブに入会していただきました。そして11月には、シニアクラブと現役JCの合同例会を開催しております。

また、現役の大きな支援としては、50周年にシニアクラブとしての支援を行なつてまいりましたし、3年後に控えた60周年に向けても、現役の活動がさらに飛躍していくことを願いながら、支援を積極的に行なつてまいりたいと思えます。今まで培ってきたJCのネットワークなども、卒業した後もまちづくりやいろいろなところで活かせるような仕組みができてきています。これからも地域のために、頑張っていきたいと思えます。

日本JCシニア・クラブ

大分ブロック担当幹事

細川 唯